

令和2年度 さいたま市立西原中学校 学校関係者評価書

さいたま市立西原中学校
学校関係者評価委員長

1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 8人
- (2) 実施回数 2回

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

学校関係者評価委員が学校に行く機会が多く取れなかったが、可能な範囲で評価した結果、全項目において肯定的な評価が得られた。厳しい状況下でも、当初示された5つの目標【(1)基礎学力向上、(2)いじめのない学校、(3)教育環境の整備、(4)保護者・地域への情報提供、(5)小・中一貫教育】については、概ね達成できたと判断できる。各項目の意見は以下のとおりである。改善に向けた方策を検討していただき、よりよい学校となることを期待したい。

質問項目	そう思う(%)	おおよそ そう思う(%)	そう 思わない(%)	よくわから ない(%)
学校だよりやHP等から学校の様子を知ることができたか	75.0	25.0	0.0	0.0
生徒は元気に挨拶しているか	50.0	37.5	0.0	12.5
学校はきれいであるか	87.5	12.5	0.0	0.0
生徒は時間を守っているか	25.0	75.0	0.0	0.0
生徒は意欲的に授業に取り組んでいるか	62.5	25.0	0.0	12.5
生徒は学校行事に意欲的に取り組んでいるか	75.0	25.0	0.0	0.0
生徒は部活動に意欲的に取り組んでいるか	50.0	50.0	0.0	0.0
学校は人権感覚をはぐくみ、いじめを許さずなくそうとしているか	62.5	37.5	0.0	0.0
生徒は交通ルールを守って登下校しているか	25.0	62.5	0.0	12.5
学校は、保護者や地域の願いを受け止めて教育活動を進めているか	62.5	37.5	0.0	0.0
学校は、保護者や地域と連携して教育活動を進めているか	75.0	25.0	0.0	0.0

- (1) 「よい授業」のアンケート結果は満足できないということであったが、ほぼ全員の生徒が「授業に積極的に取り組んでいる」と答え、ほとんどの先生方も「工夫・改善している」と答えているので、今後期待したい。
- (2) コロナの影響で社会的な状況や生活様式が変化している。そのような中で生徒の悩みも今まで以上に大きくなっていると考えられる。子どもたちの「声を聴く」ことができる体制をより充実させる必要がある。
- (3) 委員全員が肯定的な評価をしており、保護者と生徒の評価も高いことから安心・安全に配慮し、今後もよい教育環境を継続していただきたい。
- (4) 学校の自己評価にあるように「保護者会の中止等」と問題点が明らかにされていた。様々な制限がある中で教育活動を進めていくことは大変だが、できることを明確にしていく必要がある。
- (5) ひとつの小学校の子どもが同じ中学校に進学するという西原小・中の特徴を生かして進めてもらうことで、地域の学校で9年間を通して子どもが育てるというスタイルができるとよい。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- (1) 生徒の実態に沿った授業改善を図ること、また、アクティブ・ラーニングの観点を取り入れることで、生徒の苦手意識を減らすとともに、学ぶ意欲をもった生徒を増やし、基礎学力の向上を目指す。
- (2) 日頃から行っている教育活動を人権教育の視点で捉え、具体的な支援や指導の改善に結びつけていく。いじめを絶対に許さない、見過ごさない雰囲気づくりに努め、いつでも生徒の相談を受けられるよう、さらに教育相談体制の充実を図る。
- (3) 安全な教育環境の整備・拡充については、引き続き組織的に取り組んでいく。
- (4) コミュニティ・スクール準備委員会や学校だより等で、本校の教育活動を学校内外に発信する。
- (5) 小・中合同研修会や小学校への教員派遣、つぼみの日等の取組を今後も充実させ、小・中の協力体制を築く。

さいたま市立西原中学校長